

第207号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

ふれまち八多

「北神戸乗馬クラブ(仮称)」オープン前 特別インタビュー♪

深谷地区内の仮厩舎には、既に乗用馬5頭・ポニー3頭がお目見え!デビューに向け準備中です!



八多の空気にも慣れたかな?



ポニーのお散歩♪



馬とふれあう濱田さん
(左はお孫さん)



サラブレッドにまたがる三木さん
(設立準備事務所長)



オープンに向け現地では
着々と工事が進んでいます

深谷里づくり計画において「地域活性化を図るうえでの重要施設」として位置付けられ、本年秋のオープンを目指して工事中の「北神戸乗馬クラブ(仮称)」。今回は、事業主である濱田三作男さんに拠点づくりの思いを伺いました。

◆自己紹介をお願いします

長年、歯科医師として医療に従事してきました。また、大阪で社会福祉法人を設立し、今は理事長として高齢者福祉や介護事業に携わっています。

◆乗馬クラブ開業のきっかけは?

父は、先の戦争で出征し、凄惨な戦地を経験し、終生、PTSDの症状に悩まされていました。そんな父にとって、落ち着けば、馬と過ごし暮らすことが、唯一の夢だったようです。その夢を実現することなく、父は亡くなりましたが、息子である自分が父の夢を継いで、縁のある八多町で乗馬クラブをオープンしたいと思ったのがきっかけです。

◆八多町とはどんなご縁が?

父は生前、悲惨な戦争体験から多くのことを語りませんでしたが、戦死した仲間にも八多出身の方がおられたようで、八多町の村の方とも交流があったようです。私自身、八多町を訪れた時、雄大な自然と美しい里山が調和する風景、そこに暮らす方たちの人柄や育まれてきた文化に魅力を感じ、感銘を受けました。そこに、「父の夢を叶えたい」という思いも重なり、八多町内での候補地探しを始め、多くの方のご協力と

ご縁があって今に至りました。

◆どんな乗馬クラブにしたいですか?

「乗馬クラブ」というと敷居が高く感じますが、その枠にこだわらず、馬を通し、人々が集える場所を作りたいです。年代、障がいの有無などに関わらず、たくさんの人に来てもらえる場所にしたい。医療や福祉に関わってきた自身の経験も活かし、馬がもつ癒しの力を体感してもらいたい。それが結果として、「地域活性」や「お互いを補完しあう社会の実現」の一助になればありがたいです。

また、現在、兵庫県立大学の先生方とも一緒に構想を練っているの、子供さんや学生さんの学びの場にもしていきたい。馬糞や牧草の有効活用など、SDGsの推進にも取り組みたいと思っています。

◆八多町の皆さんにメッセージを

今も、近隣の方が仮厩舎の馬(サラブレッド・ポニー他)を見に来てくださっています。お話をすると、八多町のことを教えていただいたり、拠点への期待など聞かせてもらったりと、非常にありがたく感じています。平日頃、「人や思いが、つどい、初めて土地が活きる」と考えていますので、地域の皆様から「こんなことできないか」というワクワクするご提案をいただければ、是非、ご一緒にいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。どうぞ末永いお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。

北区連合自治協議会 6年度総会終わる

6月20日(木)、令和6年度北区連合自治協議会総会が神戸ホテルフールツ・フラーワーで開催されました。令和5年度事業報告・決算報告と令和6年度事業計画・予算案が原案通り承認され、今年が改選の年で岡田会長と左記の役員が再任されました。その後、功労者表彰で総会は終了。

○会長 岡田孝久
(八多町自治協議会)

○副会長 南 亀次郎
(ひよどり台連合自治会)

○会計 吉田佳展
(有馬町自治協議会)

○理事 山谷博基
(鹿の子台自治協議会)

○理事 黒田光昭
(有野台自治連合会)

○理事 田中 収
(広陵町自治会)

○監事 大江重治
(長尾町自治会)

○監事 相馬 久
(鈴蘭台自治連合会)

○名誉会長 樽谷 清
(北五葉連合自治会)

○事務局長 新井忠吉
(星和台連合自治会)

総会后、久しぶりに懇親会が行われ、行政の方々もたくさん参加いただき和やかに懇談しました。今年は設立50周年の節目の年に当たっており、9月29日(日)にはありまホールで「50周年記念式典」が予定されています。

北建設事務所 令和6年度要望書提出

令和6年度要望書提出

6月25日(火)、八多町自治協議会の岡田孝久会長、森裕之・北芝寿郎両副会長と八多出張所の矢野所長の4人で北建設事務所を訪問。八多町と令和6年度全体要望2点と各地区長さんが中心となってまとめた9地区の要望書を福水所長に提出しました。

全体要望は昨年と同じ2点①屏風辻・瀧・宮坂線の拡幅と②歩道の整備です。また、各地区からの要望は54点。詳細は地区長さんにお聞きください。9月末の現地視察を経て秋には文書で回答をいただく予定です。現地視察では新規要望を中心に見てもらいますので、地区長さんには説明をお願いいたします。その間、現地を確認していただけることから工事を実施していただくようお願いしています。危険箇所などの緊急要望はこの限りではありませんので、いつでも八多出張所に連絡してください。



ふれあいセンターで長年続いてきた「すくすく広場」が今年ピンチです。子供の数が減って、参加者が多い時で2組、参加者ゼロの時もあります。講師の先生が来られても誰も参加者がいなければ帰ってもらうしかありません。本当に困っています。北神の社会福祉協議会を通じて近隣の町にもPRをしてみました。このままでは事業の継続が危ぶまれます。楽しい行事も計画していますので、ぜひ遊びに来てください。

お知り合いに対象となる方がおられればふれあいセンターにお知らせください。

八多ふれあいセンター

電話・FAX 982-0514

【対象となる方】

神戸市北区に住む乳幼児から就学前のお子さんとその保護者です。



6月14日(金)、今年も八多学園で恒例の「八多音頭を踊る会」が開催されました。婦人会の10人の方を指導者に最初は2か所に分かれて練習。今年はカンカン照りの日だったので最後は体育館で全体練習。八多学園の教師も児童生徒も法被を着て全員が大きな踊りの輪を作りました。こうして伝統が若い子供たちに引き継がれていくことは素晴らしいことです。毎年やることによって八多音頭が小学校低学年でも上手に踊れます。今度は秋の運動会です。保護者や地域の方も加わり、さらに大きな踊りの輪ができるのが楽しみです。



6月15日(土)、令和6年度「はたっこ食堂」がふれあいセンターでスタートしました。「はたっこ食堂」は令和5年3月16日に始まり八多町の5人の女性で運営されていて、代表は八多民生児童委員協議会会長の西下三鈴さん。きっかけは北区の社会福祉協議会の会合などで「各地に子供食堂があるが、八多町でもできないかなあ」という声でした。それで、町内の女性に呼びかけスタート。参加者は「八多学園」にチラシを配布し、八多児童館で申し込むシステム。今日の参加者は17人(子供7人・大人10人)でした。メニューは地元野菜たっぷりのカレー。年4回開催予定で次回は9月21日(土)です。



6月23日(日)正午からありまホールで第3回「すずらんフェスタ」が開催されました。北区の連合婦人会は民踊が盛んで各地婦人会からたくさん参加があり、今年1月にお亡くなりになった民踊指導者の和田先生のご指導されたおどりも披露されました。民踊のほかにもダンスやコーラスなどもあり全部で27もの出し物が会場を盛り上げました。八多町からは八多婦人会民踊部の「八多音頭」と八多太鼓が参加、見事な演技に会場から大きな拍手をいただきました。最後は恒例のきたきた音頭の総踊り、ゆかた姿の三木北区長・山本北神担当区長の生歌をバックに会場いっぱい北区連合婦人会の皆さんの総踊りで締めくくり。お疲れ様でした。

北区連合婦人会の「すずらんフェスタ」



1年に1度は健診を!

「ふれまち八多」206号でお知らせしたように、今年度もふれあいセンターで8月21日(水)に八多ふれあい市民健診が予定されています。年に一度は自分や家族のために健診を受けましょう。各地区長さんを通して「追加で受けられる検査と対象者」(各戸配布)神戸けんしんガイド(回覧)も配布しました。申し込み用紙は八多出張所とふれあいセンターに置いています。また、ホームページ「ふれまち八多」からもダウンロードできます。申し込みの締め切りは8月2日(金)です。

*「けんしん」のご質問は神戸市けんしん案内センターまで

☎ 078-262-1163

8:40~17:00 (土・日・祝日を除く)

八多淡河バス 利用者数

	令和5年度												令和6年度																	
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝
利用者数	1,061	57	1,015	69	1,137	43	1,086	53	944	80	1,181	62	1,149	92	1,049	132	1,032	107	940	70	933	100	1,042	108	981	98	945	114	893	83
運行日数	20	10	20	11	22	8	20	11	20	11	20	10	21	10	20	10	20	11	19	9	19	10	20	11	21	9	21	10	20	10
月別平均利用者数	53.1	5.7	50.8	6.3	51.7	5.4	54.3	4.8	47.2	7.2	58.7	6.2	54.7	9.2	52.5	13.2	51.6	9.7	49.4	7.8	49.1	10.0	52.1	9.8	46.7	10.9	45.0	11.4	44.7	8.3
平均	平日・土日祝 合計6,788人 (1,131人/月) (36.9人/日)												平日・土日祝 合計6,754人 (1,126人/月) (37.5人/日)																	

出張所長の虫だより

第7回

「田んぼの水生昆虫」

お久しぶりです。今年も虫の夏がやって来ましたので復活しました。

6月29日に生活クラブ生活協同組合都市生活（小谷里香理事長）主催の「田んぼのいちねんを知ろう」が開催されましたので、取材と調査協力に行ってきました。

この企画は、同クラブがJA兵庫六甲や地元屏風地区の農家の方と協力して「環境創造米キヌヒカリ」の栽培を進めていますが、その活動の一環で毎年、田植えが終わって中干しまでのこの季節に、実際に田んぼに足を踏み入れ、水生生物を採集・分類調査するという活動で、2007年から行われている有意義なイベントです。当日梅雨の晴れ間を縫った晴天に恵まれ、30組70人の親子が集まりました。初めての方も多かったですが、田んぼに踏み入れた足の感覚を楽しそうに味わっておられました。

さて、調査結果ですが、例年になく豊作でして、コオイムシというタガメを小型化したような形状の水生昆虫が38匹も捕獲できました。この種は全国的には準絶滅危惧種とされ、32都道府県で「絶滅危惧種」に指定されています。オスの背中にメスが卵を大量に産み付け、孵化するまでオスが守りぬくというイクメン昆虫の代表みたいな虫です。

また、ミズカマキリ38匹、ヤゴ21匹（サナエトンボ類、アカネトンボ類）、ガムシ1匹も見られました。残念ながら、ゲンゴロウやタガメはいませんでした。



昆虫以外は、オタマジャクシ、カエルが大量に生息していました。捕獲したのは63匹！

昔から田んぼには当たり前のように暮らしていた水生昆虫などの小さな生き物たちがいなくなったのは、農薬や化学物質による水質汚染、稲の耕作手法の変化など様々な原因があるようですが、この水田では、無農薬栽培を長年続けてきたために、従来暮らしていた生態系が一部復活していると見受けられます。そここのところを、「どーんと八多を元気に楽しくする会」メンバーであり、屏風地区で「農ある暮らし」を実践中の遠藤修作先生が子供たちにもよくわかるように解説していただきました。

目に見える大きな動物の減少、絶滅は目立ちますが、実はそれらをもたらしているのは、大きな生物たちに捕食されるミジンコのような水中の微小生物たちの土台が揺らいでいるのだというお話に子供たちは大きくうなずいていました。コオイムシなど水生昆虫の減少は今回のように田んぼに入って観察・採集してみないとわかりません。このような体験イベントが今後とも続いていただけるよう生活クラブ生活協同組合都市生活様ほか関係団体の方々のご努力に期待します。



八多出張所長 矢野正人

編集後記

深谷地区でいよいよ北神戸乗馬クラブが今秋にはオープン予定です。今着々と工事が進んでいます。そこで、今回は1面にオーナーの濱田三作男さんへのインタビュー記事を掲載しました。

また、8月3日(土)は2回目の夏まつりです。関連団体からたくさんのお店やゲームも予定されています。存分にお楽しみください。

定着させよう、ゴルフの学校 はたっこゴルフ3年目、進化中!

ゴルフ場を題材にあらゆる角度から学習してみようという試みが一昨年6月から始まり、八多学園開校とともに5月から本格スタート、通算で3年目に入りました。

これまで5月10日、3年生 5月30日、6年生 6月13日、7、8、9年生合同6月20日、8年生 7月11日、7年生と5回が無事開催。いずれも昨年度からバージョンアップされています。

なお9年生の現地体験は、11月8日に予定されています。

このカリキュラムは、ダンロップゴルフコース（柏泉グリーン開発㈱）様の多大な協力を得て、学年が進むにつれゴルフを多面的に掘り下げて勉強していく試みで、全国でもおそらく義務教育学校八多学園だけの取り組みです。

ゴルフのスポーツとしての側面、レクリエーション産業としての側面、自然環境保全の側面、ゴルフ発祥の地神戸での歴史的な側面等を座学で、さらに実地で取り組めることは、総合的な学習として素晴らしい効果が期待されます。

八多学園卒業生ならゴルフの事は少し語れるようになって欲しいものです。そのために八多ふれあいのまちづくり協議会、八多自治協議会としても、八多学園、ダンロップゴルフコースの活動を力強くバックアップしていきたいと考えます。

地域のゴルフをされるみなさまにご協力いただいて、40本のパターをご寄贈いただいて、子供たちが実際に使用しています。大人と子供のペア大会などができないものか現在検討中です。

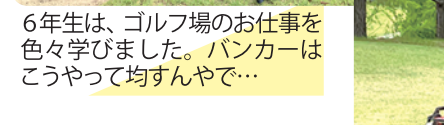
ちなみに例年の町民ゴルフ大会はダンロップゴルフコースにて令和7年2月後半に実施予定です。追ってご案内いたしますのでぜひ、参加いただきたいと思います。



3年生は人生初のゴルフ場！の子供たちがほとんど。ボールの自動販売機に興味津々！



8年生だけが搭乗できる草刈り機！レアな体験ですぞ！



6年生は、ゴルフ場のお仕事を色々学びました。バンカーはこうやって均すんやで…



7年生、何と営業中の本グリーン（ペントグラス）でパター練習…贅沢です！

＊八多町善意銀行にて芳志をいただいた方 中松本 泰宏様(満中陰志として)

ありがとうございました